



# Cisco TelePresence

## SX、MX、DX シリーズ

Collaboration Endpoint Software 8

---

D15314.08

2016 年 7 月

# 目次

目次 .....	2
マニュアルの変更履歴 .....	6
<b>Collaboration Endpoint Software 8 の概要</b> .....	<b>7</b>
このソフトウェア バージョンに関する重要な注意と警告 .....	7
TC から Collaboration Endpoint Software 8.x にアップグレードする前の機器および機能に関する 考慮事項 .....	7
TC から Collaboration Endpoint Software へアップグレードする .....	8
TC から CE にアップグレードする前の注意事項 .....	9
Collaboration Endpoint Software から TC へダウングレードする .....	9
DX 上 Collaboration Endpoint Software: Android から CE への変換ロード .....	10
CE8.1.0 - HTTPS の TLS 1.0 の中止サポート .....	10
CE8.0.0 - Collaboration Edge 用の更新された CA 証明書 .....	10
Collaboration Endpoint Software の CUCM 用 cop ファイルは RSA3 で署名される .....	11
カメラ ファームウェア .....	11
SX20 Quick Set および SX80 カメラ サポート .....	13
提供が延期されたソフトウェア バージョン .....	14
すべてのプラットフォームに対応する CE8.0.0、CE8.0.1、CE8.1.0 の提供延期 .....	14
SX20 用の CE8.0.0 の提供延期 .....	14
<b>CE8.2.1 の新機能</b> .....	<b>15</b>
<b>CE8.2.0 の新機能</b> .....	<b>16</b>
<b>CE8.2.0 の新機能の説明</b> .....	<b>17</b>
Cisco DX70/DX80 の Collaboration Endpoint Software のサポート .....	17
完全なコラボレーション エンドポイント ポートフォリオ用の Cisco Spark オンボーディング .....	19
Touch 10 UI の変更 .....	20
Cisco TelePresence SX10 Quick Set の H.323 サポート .....	20
LDAP ユーザ認証のサポート .....	20
非 admin クレデンシャルを使用した Touch 10 のペアリング .....	21

---

ルーム内コントロールの追加エントリ ポイント .....	21
マイナー変更 .....	23
デフォルトのオプション キーの削除 .....	23
新しいユーザ ロール:「RoomControl」 .....	23
<b>CE8.1.1 の新機能 .....</b>	<b>24</b>
<b>CE8.1.1 の新機能の説明 .....</b>	<b>25</b>
CE8.1.1 は重大なセキュリティ バグ CSCuz26935 (CVE-2016-1387) を修正します .....	25
<b>CE8.1.0 の新機能 .....</b>	<b>26</b>
<b>CE8.1.0 の新機能の説明 .....</b>	<b>27</b>
Cisco TelePresence SX10 Quick Set の Cisco Spark アクティベーション (CTS-SX10N-K9) .....	27
新しいビジュアル デザイン .....	28
ルーム内コントロール .....	28
PresenterTrack .....	29
Intelligent Proximity の更新 .....	30
マウス ポインタの共有 .....	30
画面上で Intelligent Proximity サービスを有効化/無効化 .....	30
遠端へのプレゼンテーションの直接共有 .....	30
マイナー変更 .....	30
オンスクリーンオーバースキャンの調整 .....	30
暗号化されたアクティブ制御シグナリングのサポート .....	31
MultiSite コールおよびポイント ツー ポイント コールでのオーディオ アバターの削除 .....	31
<b>CE8.0.1 の新機能 .....</b>	<b>32</b>
<b>CE8.0.1 の新機能の説明 .....</b>	<b>33</b>
CE8.0.1 では SX20 Quick Set の重大なバグ (CSCux85199) が修正されています .....	33
<b>CE8.0.0 の新機能 .....</b>	<b>34</b>
<b>CE8.0.0 の新機能の説明 .....</b>	<b>35</b>
Cisco Intelligent Proximity .....	35
Cisco Proximity による、PC/MAC クライアントからエンドポイントへのコンテンツ共有 .....	37

---

---

Cisco Proximity アプリケーションの可用性と要件 .....	38
Multistream .....	39
マイク LED の動作変更 .....	40
詳細設定の画面上認証 .....	41
SX20 Quick Set のユーザ インターフェイスは、TRC6 とともに使用される場合、SX10 Quick Set と同様になります .....	41
サポートされる解像度 .....	41
SX10 Quick Set での 1080p 表示解像度 .....	41
マイナー変更 .....	41
DHCP オプション 150 の常時要求 .....	41
VU メーターを使用した超音波ペアリング品質の測定 .....	42
CUCM から HTTPS のみを使用するようにエンドポイントをプロビジョニング .....	42
ホワイトボードへのスナップの改善 .....	42
<b>CE8 の未解決および解決済みの不具合 .....</b>	<b>43</b>
Bug Search Tool の使用 .....	43
<b>既知の制限事項 .....</b>	<b>45</b>
制限事項 .....	45
<b>相互運用性 .....</b>	<b>51</b>
H.323 ゲートキーパートラバーサル サーバ .....	51
SIP レジストラ/プロキシ .....	51
ゲートウェイの相互運用性 .....	51
MCU の相互運用性 .....	52
ストリーミング サーバ .....	52
管理サーバ .....	52
エンドポイントの相互運用性 .....	53
カメラ .....	55
<b>xAPI の変更 .....</b>	<b>56</b>
<b>Cisco TelePresence systems のハードウェア依存 .....</b>	<b>57</b>
はじめに .....	57

---

---

<b>Cisco TelePresence Touch 10 のハードウェア依存</b> .....	<b>59</b>
Cisco TelePresence Touch 10 用の新しいハードウェア リビジョン .....	59
ソフトウェアのファイル名 .....	60
ソフトウェア整合性の確認.....	61

## マニュアルの変更履歴

リビジョン	日付(Date)	説明
08	2016年7月11日	デバイス パックの要件に関する更新
07	2016年7月8日	DX70/80 の変換ロードに伴うリリース ノートの更新を Cisco.com で公開
06	2016年7月1日	CE8.2.1 のリリース、バグ修正によるマイナー リリース
05	2016年6月27日	Collaboration Endpoint Software 8.2.0 のリリース
04	2016年5月4日	CE 8.1.1 のリリース、バグ CSCuz26935 の修正によるマイナー リリース
03	2016年4年8日	Collaboration Endpoint Software 8.1.0 のリリース
02	2016年1月20日	CE8.0.1 のリリース、バグ CSCux85199 の修正によるマイナー リリース
01	2015年11年25日	Collaboration Endpoint Software 8.0.0 のリリース

# Collaboration Endpoint Software 8 の概要

このリリース ノートでは、Cisco TelePresence DX70、DX80、MX200 G2、MX300 G2、MX700、MX800、MX800 Dual、SX10、SX20、および SX80 Collaboration Endpoint Software バージョン 8 に組み込まれている機能について説明します。Collaboration Endpoint Software は、前述のエンドポイントでのみサポートされます。

Collaboration Endpoint Software バージョン 8 は、<http://www.cisco.com> からダウンロードできます。

## このソフトウェア バージョンに関する重要な注意と警告

重要な点として、TC ソフトウェアから Collaboration Endpoint Software にアップグレードする前に、現在の環境が変更内容をサポートすることを確認してください。アップグレードする前に、リリース ノートを十分にお読みになることをお勧めします。

## TC から Collaboration Endpoint Software 8.x にアップグレードする前の機器および機能に関する考慮事項

次の機器および機能は、Collaboration Endpoint Software ではサポートされていません。

- Cisco TelePresence Touch 8
  - Cisco TelePresence Touch 10 に差し替え
- Cisco TRC5 以下のリモート コントロール
  - リモート コントロールをコントロール デバイスとしてサポートするシステム (SX20 および SX10) では、Cisco TRC6 リモート コントロールに差し替え
- Multiway
  - アドホック会議に差し替え (CUCM MediaResourceGroupList が必要)
- CTMS (TIP/MUX)
  - Cisco TelePresence Server (仮想とアプライアンス)、Cisco TelePresence MCU、および Cisco TelePresence Conductor などのマルチポイント会議ソリューションに差し替え
- Medianet (Prime Collaboration Manager のモニタリングに影響あり)
- TC コンソール
  - 「CE コンソール」に差し替え (音声専用)

---

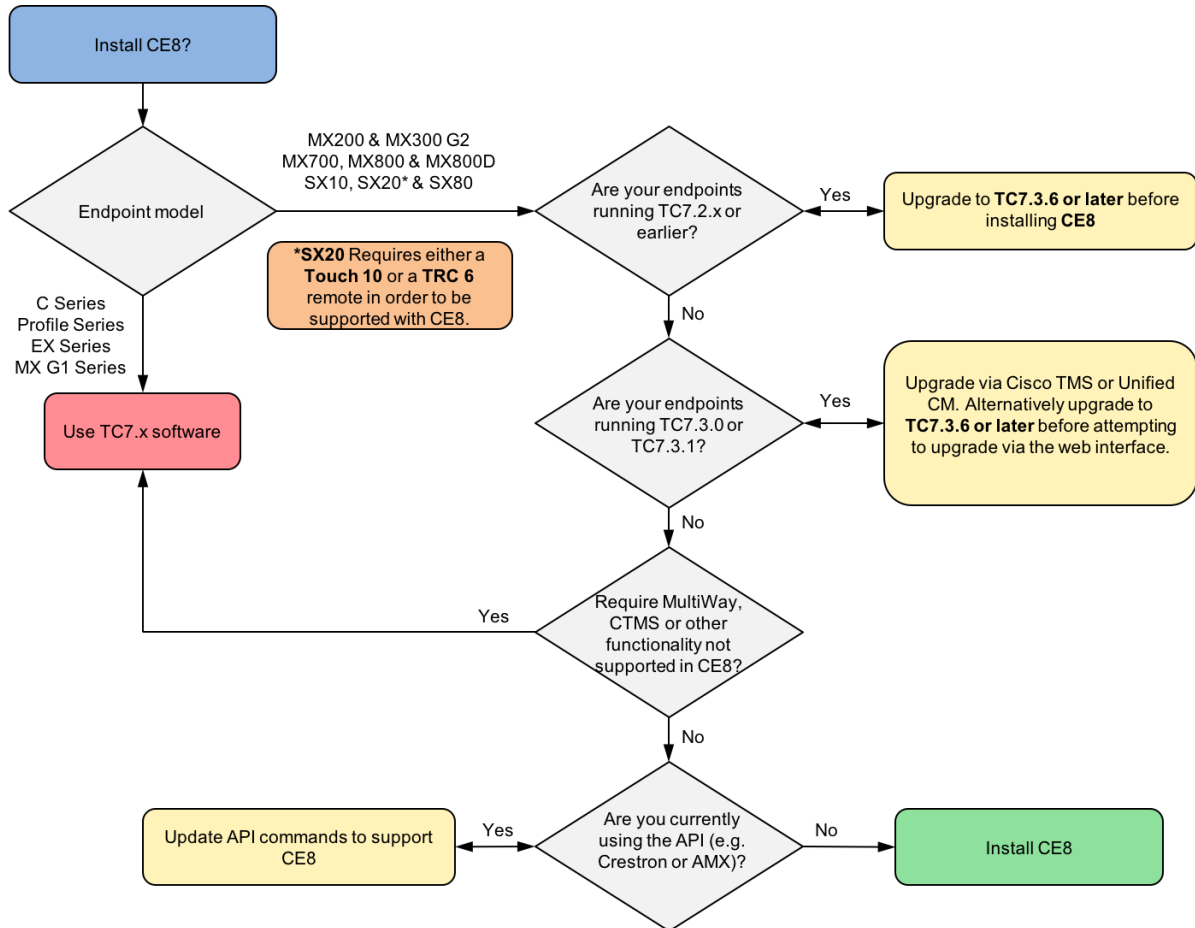
**注:** 大きな関連性はないと見なされるマイナーなサポート中止については、ここには記載しません。それらの変更については、API のガイドを参照してください。

---

## TC から Collaboration Endpoint Software へアップグレードする

TC ソフトウェアから Collaboration Endpoint Software へのシステム アップグレードは、新しいエンドポイントポートフォリオ内のすべてのエンドポイントでサポートされます。

次の図は、アップグレードの適格性を検証する一例にすぎません。実際にはアップグレード前に考慮すべき他の環境要因が存在している可能性があります。



Touch 8 または TRC5 リモートコントロールのいずれかを使用する Cisco TelePresence SX20 Quick Set では、Collaboration Endpoint Software にアップグレードしないでください。Collaboration Endpoint Software を使用してエンドポイントを稼働するには、Touch 10 または TRC6 リモートコントロールが必要です。



## TC から CE にアップグレードする前の注意事項

- Collaboration Endpoint Software は、C シリーズ、Profile シリーズ、EX シリーズ、および MX G1 シリーズなどを含む、従来の Cisco TelePresence ポートフォリオではサポートされていません。
- Collaboration Endpoint Software は、TC ソフトウェアの基盤を継承していますが、TC ソフトウェアの後継としてではなく、新規ソフトウェアと見なしてください。
- エンドポイントがすでにこれらのバージョンのいずれかを実行している場合には、TC7.3.3 以上からのアップグレードがサポートされます。そうでない場合には、Collaboration Endpoint Software へのアップグレードに進む前に、エンドポイントを TC7.3.6 以上にアップグレードすることをお勧めします。TC7.3.3 から TC 7.3.5 はすでにダウンロードでは入手できません。
- Collaboration Endpoint Software の TC7.3.0 および TC7.3.1 からのアップグレードは、Web インターフェイス経由ではサポートされません。これらのソフトウェア バージョンは Cisco.com で提供が延期されており、使用できなくなっています。これらのソフトウェア バージョンからのアップグレードは、TMS または CUCM 経由では実行できます。
- Cisco TelePresence SX20 Quick Set が Collaboration Endpoint Software でサポートされるようにするには、Touch 10 または TRC6 リモートコントロールが必要です。
- Collaboration Endpoint Software を実行するコーデックに Touch 8 をペアリングすると、特定のタッチコントローラがサポートされていないという警告メッセージが画面上に表示されます。
- Collaboration Endpoint Software を実行するコーデックで TRC5 を使用すると、サポートされないコマンドを受信したときに、警告メッセージが画面上に表示されます。
- CE8.0.0 を実行するエンドポイントには、TMS 15.0 以上が必要です。互換性を保つため、常に最新バージョンを使用することをお勧めします。

## Collaboration Endpoint Software から TC へダウングレードする

Collaboration Endpoint Software から TC ソフトウェアへのダウングレードは、サポートされています。Touch 10 パネルとペアリングされたシステムを Collaboration Endpoint Software から TC にダウングレードすると、Touch 10 パネルは自動的にダウングレードされます。まず CE8.x から TC7.3.6 以上にダウングレードし、それからさらにダウングレードを行うことをお勧めします。

## DX 上 Collaboration Endpoint Software:Android から CE への変換ロード

Android から Collaboration Endpoint Software への変換ロードは、次に示す CUCM デバイス パッケージごとに異なります。

- CUCM 11.5.1:現在利用可能なデバイス パックなし
- CUCM 11.0.1:cmterm-devicepack11.0.1.22049-2.cop.sgn(7 月 11 日リリース予定)
- CUCM 10.5.2:cmterm-devicepack10.5.2.14076-1.cop.sgn
- CUCM 9.1.2:cmterm-devicepack9.1.2.16137-1.cop.sgn

現在、変換ロードは Cisco.com から入手可能です。Android から CE への変換前に、関連するデバイス パックを Cisco UCM に必ずインストールしてください。変換ガイドについては、次のサイトを参照してください。  
<https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/ce82/dx80-dx70-convert-between-CE-android-based-software.pdf> [英語]

### CE8.1.0 - HTTPS の TLS 1.0 の中止サポート

CE8.1.0 以上を実行する Cisco TelePresence Endpoints は、TLS バージョン 1.0 のセキュリティ上の問題により、TLS バージョン 1.1 と 1.2 のみサポートします。これは TLS バージョン 1.0 のみをサポートするサーバとの通信に影響を与える可能性があることに注意してください。TMS が、TLS バージョン 1.0 のみがデフォルトで有効になっている Windows サーバ(つまり、Windows Server 2008 R2)上で実行している場合、エンドポイントが CE8.1.0 にアップグレードされると、接続の問題が生じる可能性があります。CE8.1.0 以上にアップグレードする前に、TLS 1.2 または 1.1 がサーバで有効になっていることを確認してください。TLS 1.0 しかサポートしていない旧式のブラウザの場合は、エンドポイントの Web インターフェイスに HTTPS ではアクセスできない可能性があります。

### CE8.0.0 - Collaboration Edge 用の更新された CA 証明書

注:このセクションは、TC7.3.2 以前から CE8.x にアップグレードする場合のみ適用されます。

Expressway(Collaboration Edge) インフラストラクチャ経由で CUCM に接続する場合に、エンドポイントが認識する CA 証明書のリストが更新されました。

**注意:**このファームウェアをエンドユーザのエンドポイントにプッシュする前に、Expressway インフラストラクチャ経由で CUCM によって使用されるサーバ証明書が有効と認識されていることを確認してください。

証明書が無効の場合、MRA エンドポイントはプロビジョニングできず、エンドポイントに物理的にアクセスするにはこの問題の解決が必要になる可能性があります。

## Collaboration Endpoint Software の CUCM 用 cop ファイルは RSA3 で署名される

ソフトウェア健全性保護を強化するために、Cisco Unified Communications Manager リリース 10.0.1 以上の cop ファイルの署名には、新しい公開鍵が使用されます。10.0.1 より前の Cisco Unified Communications Manager で Collaboration Endpoint Software 8.x の cop ファイルをインストールするには、ciscocm.version3-keys.cop.sgn の README をお読みになり、その追加の cop ファイルを、まず特定の Cisco Unified Communications Manager のバージョンにインストールする必要があるかどうかを判断してください。これらの鍵が存在していないものの必要である場合は、ソフトウェア パッケージをインストールしようとする、「選択したファイルが無効」というエラーが表示されます。拡張子が「k3」のファイル名に追加されています (cmterm-s52010ce8\_0\_0.k3.cop.sgn)。

ciscocm.version3-keys.cop.sgn は、次のサイトにあります。

<https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=283782839&reltype=all&reind=AVAILABLE&release=COP-Files&softwareid=282204704&sortparam=2> [英語]

## カメラ ファームウェア

以下の表で、CE ソフトウェア リリースに含まれているカメラ ソフトウェアの概要を確認できます。リストに掲載されているのは、新しいカメラ ソフトウェアのみです。リストに掲載されているのは、そのカメラ ソフトウェアは以前のリリースと同じままです。

リリース	ハードウェア名/ID	ソフトウェア名/ID	注記
CE8.2.1	Precision 60 55000000	HC8.2.1.e9daf06	
CE8.2.0	Precision 60 55000000	HC8.2.0.d66bc59	
	PrecisionHD 1080p 2.5x 54000000	S01777-2.2 RC14 ID:20037	
	PrecisionHD 1080p 4x S2 53000000	S01777-2.2 RC14 ID:20037	
CE8.1.1	Precision 60 55000000	HC8.1.1.a8488eee	
CE8.1.0	Precision 60 55000000	HC8.1.0.b8c0ca3	
CE8.0.1	該当なし	該当なし	

リリース	ハードウェア名/ID	ソフトウェア名/ID	注記
CE8.0.0	PrecisionHD 1080p 4x 52000000	S01752-2.0 FINAL ID:20011	
	PrecisionHD 1080p 2.5x 54000000	S01777-2.2 RC12 ID:20035	
	PrecisionHD 1080p 4x S2 53000000	S01777-2.2 RC12 ID:20035	
	PrecisionHD 1080p 12x 5000000(1-4)	S01718-4.0 FINAL ID:40084	
	Precision 60 55000000	HC8.0.0.2272c42	

**SX20 Quick Set および SX80 カメラ サポート**

コーデック	カメラ	サポートに関するコメント
SX20	PrecisionHD 1080p 2.5x	フル サポート
	PrecisionHD 1080p 4x S2	フル サポート
	PrecisionHD 1080p 12x	フル サポート
SX80	Precision 60	フル サポート
	SpeakerTrack 60	フル サポート
	PrecisionHD 1080p 4x S2	フル サポート
	PrecisionHD 1080p 12x	パン、ティルト、ズーム機能がある基本的な使用はサポートされます。 *このカメラの ソフトウェア アップグレードは、このコーデックではネイティブにサポートされません。 *カメラのデジタイゼーション接続は、SX80 ではサポートされていません。

---

## 提供が延期されたソフトウェア バージョン

ソフトウェア バージョンは、ソフトウェア内に重大な問題が見つかると、提供が延期されます。これは、問題の影響があるソフトウェア バージョンをユーザがダウンロードしてインストールするのを防止するための措置です。ソフトウェア バージョンが提供延期になる前には、その差し替えのソフトウェアが必ず用意されます。

### すべてのプラットフォームに対応する CE8.0.0、CE8.0.1、CE8.1.0 の提供延期

2016 年 5 月 4 日に提供延期になりました。

詳細については、提供延期の通知をお読みください。

<http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/software/ce8/release-notes/cisco-ce800-ce801-ce810-deferral-notice.pdf> [英語]

### SX20 用の CE8.0.0 の提供延期

2016 年 1 月 20 日に提供延期になりました。

詳細については、提供延期の通知をお読みください。

[http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/software/ce8/release-notes/cisco\\_ce800\\_deferral\\_notice.pdf](http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/software/ce8/release-notes/cisco_ce800_deferral_notice.pdf) [英語]

## CE8.2.1 の新機能

- これはマイナーリリースで、バグ修正のみ含まれます。

---

## CE8.2.0 の新機能

- Cisco DX70 および DX80 用の Collaboration Endpoint Software のサポート
- Collaboration Endpoint ポートフォリオの Cisco Spark オンボーディング
- Touch 10 UI の変更
- Cisco TelePresence SX10 Quick Set の H323 サポート
- LDAP ユーザ認証のサポート
- 非 admin クレデンシャルを使用した Touch 10 のペアリング
- ルーム内コントロールの追加エントリ ポイント
- マイナー変更
- デフォルトのオプション キーの削除
- 新しいユーザ ロール:「RoomControl」
- カナダ フランス語の言語サポートの追加:フランス語(カナダ)



# CE8.2.0 の新機能の説明

## Cisco DX70/DX80 の Collaboration Endpoint Software のサポート

ソフトウェア バージョンが 10.2.5.207 以上の Cisco DX70 および Cisco DX80 は、Collaboration Endpoint Software に変換できます。

このプロセスにより、Android ベースの運用システムとすべてのアプリが削除され、システムは Collaboration Endpoint ポートフォリオ、およびその大半の機能と連携するピュアな TelePresence デバイスになります。変換後、Cisco DX70 および DX80 は、通常のプロセスとパッケージを使用して、さらにアップグレードできます。Collaboration Endpoint Software からの復帰は、CE8.2.x. からのみサポートされます。

Cisco DX70 または DX80 を Collaboration Endpoint Software に変換する方法、または Android ベースの OS に戻す方法については、次の変換ガイドを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/ce82/dx80-dx70-convert-between-CE-android-based-software.pdf> [英語]

Collaboration Endpoint Software への変換後にシステムを運用する方法の説明については、次のアドミニストレータ ガイドを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/ce82/dx70-dx80-administrator-guide-ce82.pdf> [英語]

注: Android ベースの OS から Collaboration Endpoint Software への変換には、UCM が必要です。現在の環境に変換を行うための UCM がない場合は、Cisco Technical Assistance Center に状況を報告してください。

注: Cisco DX650 は、Collaboration Endpoint Software への変換はサポートされません。サポートされるのは Cisco DX70 および DX80 のみです。

注: CUCM 9.1.2、10.5.2、11.0.1、および 11.5.1 では、変換プロセス後に CUCM が新規デバイスを認識するために、新規のデバイス パックが必要です。

- CUCM 11.5.1: 現在利用可能なデバイス パックなし
- CUCM 11.0.1: cmterm-devicepack11.0.1.22048-1.cop.sgn
- CUCM 10.5.2: cmterm-devicepack10.5.2.14076-1.cop.sgn
- CUCM 9.1.2: cmterm-devicepack9.1.2.16137-1.cop.sgn

DX シリーズのエンドポイントを変換する前に、Collaboration Endpoint Software が Android ベースの OS とは異なることに注意しておくことは重要です。Android ベースの OS で使用可能な多くの機能は、CE への変換後は使用できません。しかし、Android ベースの OS で使用できない多くの機能を、CE で使用できるようになります。

DX シリーズの CE8.2.0 でサポートされる機能*		CE8.2.0 の DX 固有の機能
Spark / UCM / VCS 登録	HDMI 音声入力	フルタッチ操作画面
LED 不在着信インジケータ	保留/復帰	シスコ用 Jabra ハンドセット 450
TMS プロビジョニングとディレクタリ	DTMF お気に入りに追加	Plantronics P240 有線ハンドセット USB ヘッドセット**
ClearPath の回復力	「カメラ終了」インジケータ	
H263/H264	One Button to Push (OBTP)	*このリストに記載しているのは、関連性が高い機能のみです。将来の CE リリースではさらに多くの機能が追加されます。
SIP/H323	コンテンツ共有 (1080p5)	**既知の動作確認済みとテスト済みの USB ヘッドセットのリストについては、以下を参照してください。
ドキュメントカメラ	サイレント	<a href="http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/ce82/dx70-dx80-user-guide-ce82.pdf">http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/ce82/dx70-dx80-user-guide-ce82.pdf</a> [英語]
FECC: 遠端カメラ制御	フル Web アクセス	
PC モニタ (1080p60)	リモート モニタリング オプション	
Expressway	PID: L-DX-SERIES-RM	

---

**CE8.2.0 ではサポートされていないが、将来のリリースに含まれる可能性がある機能**


---

Wi-Fi	お気に入りの編集
Bluetooth	エクステンション モビリティ
通話を転送する	OSD ミュート インジケータ(ミュート時にミュート
不在転送	LED が赤く点灯)
共有回線	インテリジェント オーディオ(オーディオ コーン)
コンシェルジュ	非 QWERTY キーボードの言語ローカリゼー
ボイスメール	ション
自動応答	キーボード コントロール
UI の着信音および壁紙オプション	キーボードとマウスのリダイレクト
	ルーム内コントロール

---

詳細については、『DX Administrator Guide』を参照してください。

## 完全なコラボレーション エンドポイント ポートフォリオ用の Cisco Spark オンボーディング

完全な Cisco TelePresence コラボレーション エンドポイント ポートフォリオ用の Cisco Spark オンボーディングは、CE8.2.0 からサポートされています。このポートフォリオには、Cisco TelePresence SX10(CE8.1.0 からは SX10N)、SX20、SX80、MX200 G2、MX300 G2、MX700、MX800、MX800 デュアル、DX70、および DX80 が含まれます。

Cisco TelePresence SX10、SX10N、および SX20 が TRC6 赤外線リモートコントロールで動作している場合、Cisco Spark へのオンボーディングのみサポートされます。

SX80、MX200 G2、MX300 G2、MX700、MX800、MX800D には、直接ペアリングされた Touch 10 パネルが必要です。Touch 10 がコーデックに直接ペアリングされていない場合、Cisco Spark にシステムを登録するオプションは表示されません。

Cisco Spark に関する詳細および Cisco Spark でエンドポイントをアクティブにする方法については、<https://www.ciscospark.com/> を参照してください。

以下の Room Systems の Spark 登録の基本要件(工場出荷時のデフォルト設定):

Spark Room System	最小の CE バージョン	タッチ 10	TRC6	暗号化オプション キー
SX10N(CTS-SX10N-K9)	CE8.1.0	なし	あり	あり 8.1.0(なし CE8.2.0)
SX10(CTS-SX10-K9)	CE8.2.0	なし	あり	なし
SX20	CE8.2.0	なし	あり	なし
SX80	CE8.2.0	あり	なし	なし
MX200 G2/MX300 G2	CE8.2.0	あり	なし	なし
MX700/MX800/MX800D	CE8.2.0	あり	なし	なし
DX70/DX80	CE8.2.0	なし	なし	なし

## Touch 10 UI の変更

ビジュアル更新は、Touch 10 の [セットアップとペアリング (Setup and Pairing)] ウィザードに適用されました。Cisco Spark に登録すると、Touch 10 の新しい GUI を使用できます。これは、Cisco TelePresence SX10 のオンスクリーン ユーザ インターフェイスに似ています。エンドポイントがオンプレミス インフラストラクチャに登録されている場合、Touch 10 パネルが CE8.1.1 などの既知のユーザ インターフェイスで起動します。

## Cisco TelePresence SX10 Quick Set の H.323 サポート

Cisco TelePresence SX10 Quick Set では、コラボレーション エンドポイント ポートフォリオの他のエンドポイントに合わせて、H.323 プロトコルのサポートが追加されました。

## LDAP ユーザ認証のサポート

CE8.2.0 以上を実行しているすべてのコラボレーション エンドポイントの LDAP サービスに対して admin ユーザ認証をサポートするために、新しい構成セットが追加されました。ローカル admin ユーザは常に存在し、アクティブであることに注意してください。

LDAP 機能は、標準 LDAP サービス (Microsoft Active Directory など) と連携します。この機能は、コーデックの Web インターフェイス/API 経由で有効にされて設定されるか、または UCM により一括でプロビジョニングされます。

認証に LDAP サービスを使用するようにエンドポイントが正しく設定された後、LDAP クレデンシャルでログインする方法については、以下の説明を参照してください。

- Web: <domain>\<LDAP username> または <LDAP username>@<domain>
- Touch 10 管理者設定: <LDAP username>@<domain>
- シェルの保護: ssh -l <LDAP username>@<domain> <codec-IP>
  - SSH および Touch 10 を使用してログインする場合、<domain>\<LDAP username> フォーマットはサポートされないことに注意してください。
  - Touch 10 は、LDAP クレデンシャルを使用してエンドポイントにペアリングすることはできません。

エンドポイントは、ユーザを認証するために LDAP サービスに直接接続します。LDAP サービスを介して認証できるすべてのユーザは管理者になります。この機能は、非 admin ユーザ ロールをサポートしていません。

## 非 admin クレデンシャルを使用した Touch 10 のペアリング

Touch 10 パネルは、非 admin または admin クレデンシャルを使用して、CE8.2.0 以上を実行するコーデックにリモートでペアリングできます。「ユーザ」ロールのみが必須です。

Touch 10 のペアリングが正常に行われると、たとえば Touch 10 パネルをコーデックからペアリング解除するなど、管理者設定を元どおりに変更するには admin クレデンシャルが必要です。

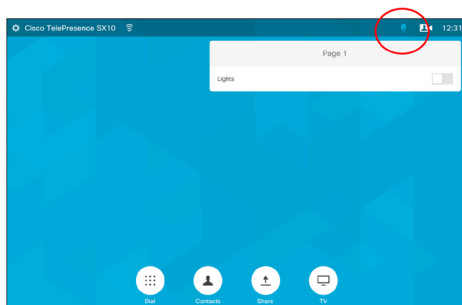
この機能により、オンサイトの非 admin ユーザが何らかの理由で Touch 10 をコーデックにペアリングしなければならない状況での手順を簡素化できます。管理者はこのシナリオを対象とした通常のユーザを作成し、セキュリティを犠牲にしないで、これらのクレデンシャルをユーザに提供できます。Touch 10 パネルのペアリングが正常に行われた後、通常のユーザはコーデックから安全に削除できます。

## ルーム内コントロールの追加エントリ ポイント

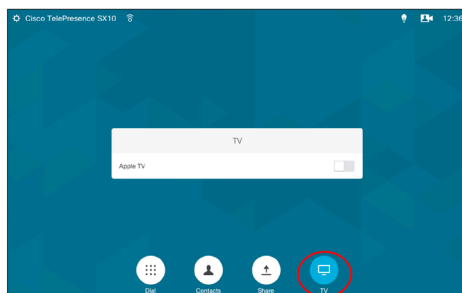
現在、ルーム内コントロールには 2 つのエントリ ポイントがあり、これらを使用してコンテキストに応じたルーム内コントロールを作成できます。エントリ ポイントは合計で 3 つあります。それは、グローバル、ホーム画面、コール中です。また、ルーム内コントロール エディタにはエントリ ポイント アイコンの幅広い選択肢が含まれています。

グローバル	ホーム画面	コール中
推奨機能： <ul style="list-style-type: none"> <li>照明</li> <li>ブラインド</li> <li>通気</li> </ul> コール内外で使用可能	推奨機能： <ul style="list-style-type: none"> <li>TV</li> <li>サービス</li> <li>メディア</li> </ul> コール外のみで使用可能	推奨機能： <ul style="list-style-type: none"> <li>マイク</li> <li>録音(Recording)</li> <li>ヘルプ</li> </ul> コール内のみで使用可能

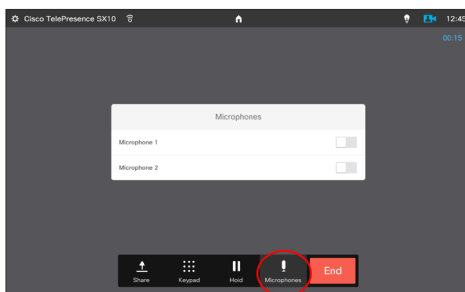
- グローバル



- ホーム画面



- コール中



---

## マイナー変更

このセクションでは、Collaboration Endpoint Software 8.2.0 に導入された一連の関連するマイナー変更について扱います。

### デフォルトのオプション キーの削除

次のオプション キーはほとんどのコラボレーション エンドポイントにデフォルトで含まれており、CE8.2.0 からオプション キーとしてリストされません。

- NaturalPresenter
- DualDisplay
- HighDefinition
- PremiumResolution

これらのオプション キーが提供する機能はそのまま使用できますが、キーは冗長になっています。

これらのオプション キーを必要とするソフトウェア バージョンにダウングレードする必要がある場合に備えて、ダウングレード後に各機能を有効にするために、プリインストールされたキーがコーデックに保管されています。

### 新しいユーザ ロール:「RoomControl」

非 admin ユーザまたはインテグレーターがルーム制御エディタにアクセスするために、「RoomControl」ユーザ ロールが追加されます。「RoomControl」ロールは、新しい非 admin ユーザがコーデックの Web インターフェイスから作成されるときに割り当てることができます。

## CE8.1.1 の新機能

- これはマイナーリリースで、CSCuz26935 のバグ修正のみ含まれます。



## CE8.1.1 の新機能の説明

### CE8.1.1 は重大なセキュリティ バグ CSCuz26935 (CVE-2016-1387) を修正します

Cisco TelePresence Codec (TC) およびコラボレーション エンドポイント (CE) システム ソフトウェアに含まれる脆弱性のため、認証されていないリモートの攻撃者が XML API にアクセスする際に認証をバイパスしてしまう可能性があります。

脆弱性の詳細については、次のセキュリティ アドバイザリを参照してください。

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160504-tpxml> [英語]

脆弱性が含まれる次の CE8 リリースは、すべてのプラットフォームで Cisco.com からの提供が延期されています。

CE8.0.0、CE8.0.1、CE8.1.0

ソフトウェア提供延期に関する通知の詳細については、以下を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/software/ce8/release-notes/cisco-ce800-ce801-ce810-deferral-notice.pdf> [英語]

シスコでは、上記のソフトウェア バージョンのいずれかを実行しているすべてのユーザに、この問題が解決されている CE8.1.1 にアップグレードすることを推奨しています。

---

## CE8.1.0 の新機能

- Cisco TelePresence SX10 Quick Set の Cisco Spark アクティベーション (CTS-SX10N-K9)
- 新しいビジュアル デザイン
- ルーム内コントロール
- PresenterTrack
- Intelligent Proximity の更新
- マウス ポインタの共有
- オンスクリーンでの Intelligent Proximity サービスを有効化/無効化
- 遠端へのプレゼンテーションの直接共有
- マイナー変更
- オンスクリーンオーバースキャンの調整
- 暗号化されたアクティブ制御シグナリングのサポート
- MultiSite コールおよびポイント ツー ポイント コールでのオーディオ アバターの削除

## CE8.1.0 の新機能の説明

### Cisco TelePresence SX10 Quick Set の Cisco Spark アクティベーション(CTS-SX10N-K9)

Collaboration Endpoint Software 8.1.0 では、Cisco Spark アクティベーションをサポートします。これは、サポートされるエンドポイントを Spark Cloud に登録し、追加の TelePresence インフラストラクチャを必要としないでビデオ通話に使用できるというものです。CE8.1.0 への Cisco Spark 登録をサポートする唯一のルームシステムは、PID 番号 **CTS-SX10N-K9** の Cisco TelePresence SX10 Quick Set です。このハードウェアリビジョンには、前面パネルに組み込みの超音波エミッタがあり、モバイル Cisco Spark クライアントとのペアリングを可能にします。SX10 の古いリビジョンには必要な超音波エミッタがなく、また Cisco Spark をアクティベーションの代用として備えていないため、Cisco Spark アクティベーションがサポートされません。

#### Cisco Spark でのルーム システムのアクティベーション要件

Cisco Spark で SX10 をアクティベートするには、次の要件を満たす必要があります。

- Cisco TelePresence SX10 Quick Set と正しい PID(CTS-SX10N-K9)
  - PID はユニットの背面で確認できます
- 実行中のソフトウェアが Collaboration Endpoint Software 8.1.0 以上である
- 暗号化オプション キーがインストールされている(デフォルトではインストールされています)
  - 暗号化オプション キーがインストールされていない場合、Cisco Licensing に問い合わせ、このキーを無料で入手できます
  - このキーがインストールされていない場合、セットアップ時に Cisco Spark でエンドポイントをアクティベートするオプションが表示されません
- TRC V リモート コントロール
  - 現時点では、ルーム システムを Cisco Spark に登録する際に、Touch 10 はサポートされていません
- <https://admin.ciscospark.com> から取得した Cisco Spark アクティベーション コード
  - 組織の有料のサブスクリプションが必要です
  - 詳細については、シスコの販売担当者にお問い合わせください

## Cisco Spark へのオンボーディング

初回セットアップ時に、ルーム システムを Cisco Spark でアクティベートするか、それとも既存のオンプレミス インフラストラクチャでアクティベートするかを尋ねられます。Cisco Spark アクティベーションを選択したら、必要なアクティベーション コードを入力し、画面上の [アクティベート(Activate)] ボタンを押します。

ルーム システムが Cisco Spark でアクティベートされている場合、Collaboration Endpoint Software のユーザ インターフェイスに類似した Spark Room OS の最新バージョンがダウンロードされます。

Spark Room OS では、API および Web インターフェイスへのアクセスが制限されているため、Collaboration Endpoint Software と同じ管理機能はありません。いくつかの簡単な設定オプションのみ、OSD UI で使用できます。この段階から、ルーム システムはシスコにより管理されます。何か問題がある場合は、Cisco Spark モバイル アプリケーションまたは Cisco Cloud Collaboration Management (<https://admin.ciscopark.com>) を経由して、Cisco Technical Assistance Center にお問い合わせください。Spark Room OS とその機能の詳細については、以下を参照してください。

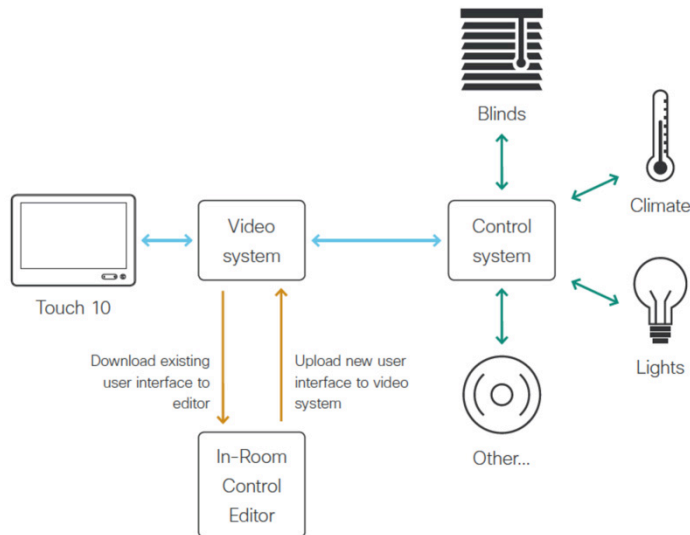
<https://help.webex.com>

## 新しいビジュアル デザイン

ユーザ インターフェイスが新しいビジュアル デザインに更新されました。これには、エンドポイントをリモコン TRC 6 を使用して操作する場合と、Touch 10 上で操作する場合の両方のオンスクリーン ユーザ インターフェイスが含まれています。MultiSite コールと Multistream コールのラベルとアイコンの外観が新しくなりました。

## ルーム内コントロール

ルーム内コントロール機能を使用すると、会議室の周辺機器(たとえば照明やブラインドなど)を制御できるように、Touch 10 ユーザ インターフェイスをカスタマイズできます。周辺機器を制御するには、周辺機器のハードウェア ドライバを搭載したサードパーティ製の制御システム(Crestron、AMX、Apple HomeKit、Android など)が必要です。



グラフィカル ユーザ インターフェイスは、エンドポイントの Web インターフェイスで使用可能な簡単なドラッグアンドドロップ GUI エディタを使用して、誰でも設計できます。また、エディタをコーデックからダウンロードし、オフラインで使用して、後でファイルから設計をアップロードすることができます。

ルーム内コントロール機能のセットアップの詳細については、次のユーザ ガイドを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/ce81/sx-mx-in-room-control-guide-ce81.pdf> [英語]

## PresenterTrack

PresenterTrack は、SpeakerTrack 60 のカメラの 1 台または Precision 60 カメラが、ステージ上の外観画像または会議室内のプレゼンター/インストラクターをデジタル方式で追跡できるようにする機能です。これにより、プレゼンターは追跡エリア内を自由に移動でき、カメラはそのプレゼンターを追跡できます。追跡はデジタル方式で行われるため、カメラは物理的にプレゼンターの後を追わないことに注意してください。

この機能はエンドポイントの Web インターフェイスで設定します。機能が設定されている間は、会議室にいたことが推奨されています。機能を設定するには、設定ウィザードのトリガーゾーンを選択します。これは、顔が検知されると PresenterTrack を起動する外観画像内のエリアです。トリガーゾーンを選択したら、Touch 10 から機能を有効/無効にすることができます。

注: PresenterTrack 機能は CE8.1.0 からのみ使用でき、SpeakerTrack 60 または Precision 60 カメラが必要です。エンドポイントが「ブリーフィング ルーム」モードに設定されていないと、SpeakerTrack と PresenterTrack 機能は同時にアクティブになりません。

---

## Intelligent Proximity の更新

### マウス ポインタの共有

デスクトップ 1.1.0 以上用の Cisco Proximity 機能を使用して、アプリケーションはマウス ポインタをレンダリングします。この効果は新バージョンのアプリケーションを搭載した CE8.0.0 にも見られることに注意してください。

### 画面上で Intelligent Proximity サービスを有効化/無効化

リモート コントロール TRC 6 を使用してエンドポイントを動作させる場合、ユーザは Intelligent Proximity サービスを一時的に有効/無効にすることができます。この機能は、Touch 10 で使用可能な以前のリリースの CE にのみ含まれています。

### 遠端へのプレゼンテーションの直接共有

プレゼンテーション ソースへの接続時に、コール状態で遠端の参加者とプレゼンテーションを自動的に共有するようにエンドポイントを設定できます。プレゼンテーション ソースを接続するときに、ユーザからの操作は必要ありません。コール外部でプレゼンテーション ソースを接続すると、設定は「OnConnect」設定のような動作をし、プレゼンテーションが自動的にローカルで表示されます。プレゼンテーション ソースがすでに接続されているときにユーザがコールする場合、プレゼンテーションを手動で共有するか、または再接続する必要があります。

### マイナー変更

このセクションでは、Collaboration Endpoint Software 8.1.0 に導入された一連の関連するマイナー変更について扱います。

### オンスクリーンオーバースキャンの調整

この機能は、画像の一部が表示されない場合に、画面に合わせて画像を調整するためのものです。ほとんどの画面には画像を調整する組み込み設定があります。最初にこの設定を試行してください。TRC 6 リモートコントロールで動作するシステムの場合、オーバースキャン値の調整は、セットアップ ウィザードで行うか、または設定メニューで [画面調整 (Screen Adjustments)] を選択して行うことができます。

## 暗号化されたアクティブ制御シグナリングのサポート

Collaboration Endpoint Software バージョン 8.1.0 では、暗号化されたアクティブ制御シグナリングのサポートを追加しています。

## MultiSite コールおよびポイント ツー ポイント コールでのオーディオ アバターの削除

以前に音声参加者を表していたフルスクリーン アバターは、ポイントツーポイント コールおよび MultiSite コールでは削除されました。アバターをブリッジ接続されたコールに表示することもできますが、そのような場合にエンドポイントはオーディオ アバターを制御しません。

## CE8.0.1 の新機能

- これはマイナーリリースで、CSCux85199 のバグ修正が含まれます。



## CE8.0.1 の新機能の説明

### CE8.0.1 では SX20 Quick Set の重大なバグ (CSCux85199) が修正されています

1月15日に、CE8.0.0はCisco TelePresence SX20 Quick Setで提供延期になりました。これは、CE8.0.0からTC7.3.xへのダウングレード後に、マイクミュートボタン機能が中断するという問題が生じたためです。エンドポイントにTC7.3.xがインストールされており、CE8.0.0で使用していない場合でも、SX20 Quick Setの出荷時に同じ現象のファームウェアが一部含まれている可能性があることに注意してください。

問題の詳細については、以下のソフトウェア提供延期に関する通知で確認できます。

[http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/software/ce8/release-notes/cisco\\_ce800\\_deferral\\_notice.pdf](http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/software/ce8/release-notes/cisco_ce800_deferral_notice.pdf) [英語]

この問題が発生している場合、TCソフトウェアを実行しているのであれば、この問題が解決されているTC7.3.5にアップグレードできます。CE8.0.1からいずれかのTC7.3.xにダウングレードする場合、ミュートボタン機能の中断は発生しません。

CE8.0.1リリースにその他のバグ修正はありません。

---

## CE8.0.0 の新機能

- Cisco Intelligent Proximity
- PC および MAC クライアントで使用する Cisco Intelligent Proximity
- Multistream
- マイク LED の動作変更
- 詳細設定のオンスクリーン認証
- TRC6 との併用時、SX20 Quick Set のユーザ インターフェイスが SX10 Quick Set と同一化
- サポートされる解像度
- SX10 Quick Set での 1080p 表示解像度
- マイナー変更
- DHCP オプション 150 の常時要求
- VU メーターを使用した超音波ペアリング品質の測定
- CUCM から HTTPS のみを使用するようにエンドポイントをプロビジョニング
- ホワイトボードへのスナップの改善

## CE8.0.0 の新機能の説明

### Cisco Intelligent Proximity

Cisco Intelligent Proximity 機能は CE8.0.0 でサポートされます。このソフトウェア バージョンをサポートするすべてのエンドポイントはこの機能を利用できます。エンドポイントごとに、近接接続できるエンドポイントの最大数については、以下を参照してください。これらの数値には接続されたラップトップとモバイル デバイスの合計が含まれることに注意してください。

エンドポイント	同時近接接続の最大数
SX10	7
SX20	7
SX80	10
MX200 G2 MX300 G2	7
MX700 MX800 MX800D	10

**注:** 現在、Cisco Proximity を使用するには、エンドポイントに接続するデバイスに、ポート 443(HTTPS) 上のエンドポイントへの IPv4 ルーティング可能ネットワーク パスが必要です。HTTPS をエンドポイントで有効にする必要があります。

**注:** エンドポイントには、超音波を生成できるスピーカーシステムが必要です。この超音波により、Cisco Proximity クライアント アプリケーションを実行しているデバイスとの無線ペアリングが可能になります。

Intelligent Proximity 機能により、ユーザは PC、MAC、iOS、Android デバイスをエンドポイントに無線で接続することができます。Intelligent Proximity が有効となっているサービスに応じて、ユーザは Android または iOS デバイスにローカル/リモートに共有したコンテンツを入手したり、エンドポイント コール制御にアクセスしたりできます。Intelligent Proximity を PC または MAC 用の Cisco Proximity アプリと接続すると、システムがコール中でない場合はローカルに、システムがコール中の場合はリモートに、ラップトップ画面の画像を無線で共有できます。

次の 3 つの Intelligent Proximity サービスは、管理者がエンドポイント上で個別に有効/無効にすることができます。

最初に、エンドポイントで Proximity モードが [オン(On)] になっていることを確認します。これにより、基本デバイス ペアリングを有効にし、次の Intelligent Proximity サービスの 1 つ以上を開始することができます。

- クライアントへのコンテンツ共有
  - この機能を有効にすると、iOS または Android デバイスにローカルまたはリモートに共有されているコンテンツを受け取ることができます。
  - エンドポイントは最大 10 個までのコンテンツ スナップショットを保存し、それらを接続されたデバイスへ送信します。これは、参加者が以前のスナップショットを確認する場合に便利です。ユーザはコンテンツを携帯デバイスに保存し、後で表示することができます。これらのスナップショットは、コールが切断されたときにエンドポイント上で削除されます。スナップショットは、コールの切断時に、ペアリングされたデバイスからは削除されないことに注意してください。
- クライアントからのコンテンツ共有
  - この機能を有効にすると、PC および MAC 上のクライアントは、コール中にコンテンツ スナップショットをローカルおよびリモートに共有できます。
  - 通話中に画面共有が PC/MAC の Proximity アプリケーションで有効になっている場合、リモート プレゼンテーションが自動的にトリガーされ、すべての参加者に共有コンテンツが表示されます。
- コール制御
  - この機能を有効にすると、ユーザは iOS または Android デバイスから Intelligent Proximity に接続して、次の基本的なコール制御アクションを行うことができます。
    - ディレクトリ ルックアップ
    - ダイヤル/コールの終了/ミュート/DTMF トーン/参加者の追加/音量コントロール

プロキシミティ モードが有効であり、1 つ以上の Intelligent Proximity サービスが有効な場合、Touch 10 パネルの左上に Intelligent Proximity のアイコンが表示されます。このアイコンを押すことで、必要に応じて、Intelligent Proximity サービスを無効および有効にすることができます。これは、ユーザが Intelligent Proximity サービスを特定のセッション中に無効にしたい場合に便利です。

Cisco Intelligent Proximity のペアリング モードは、完結型ルーム システム (MX シリーズ) でデフォルトで有効であり、すべての Intelligent Proximity サービスはデフォルトでは無効です。つまり、出荷時の状態のまま、ユーザはシステムとのペアリングを行うことができ、サービスが有効でなければ通知を受け取ります。

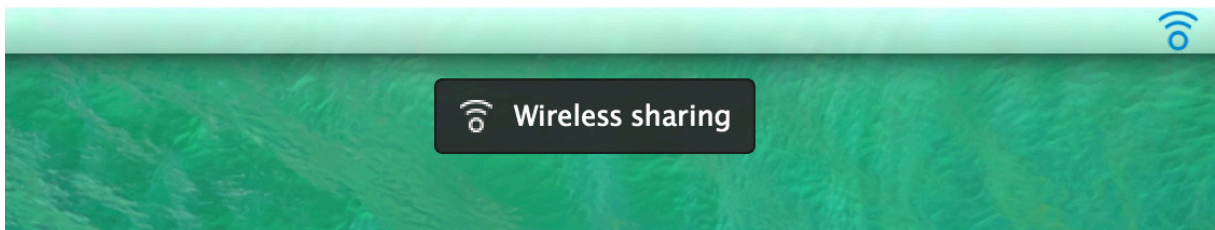
インテグレート システム (SX シリーズ) では、Cisco Intelligent Proximity のペアリング モードはデフォルトで無効です。これらのデバイスがサードパーティ製機器とどのように設定されるかを予測できないためです。Intelligent Proximity のペアリング モードは SX シリーズでは手動で有効にする必要があります。

注: サポート、質問、トラブルシューティング情報については、下記リンクの Proximity のコミュニティにアクセスしてください。<https://www.cisco.com/go/proximity-support>

## Cisco Proximity による、PC/MAC クライアントからエンドポイントへのコンテンツ共有

コラボレーション エンドポイント ソフトウェアにより、Cisco Proximity アプリケーションを実行している PC/MAC クライアントには、Intelligent Proximity ペアリングとコンテンツ共有の機能が導入されます。PC 用の Cisco Proximity アプリケーションは、ベータ版としてリリースされています。

画像は、画面のスナップショットとして低フレーム レートでエンドポイントに送信されます。そのため、この機能は、スライド ベースのコンテンツなどの静止画像を表示するには最適ですが、ビデオなどの動くコンテンツにはあまり役に立ちません。Proximity によりコンテンツが共有されると、画面上に [ワイヤレス共有 (Wireless sharing)] の通知が貼られます。



これは、コンテンツの意図しない共有を避け、コンテンツが Proximity によって共有されていることを確認するために表示されます。

Cisco Proximity アプリケーションで共有されるのはビジュアル コンテンツのみで、音声コンテンツは共有されません。

詳細は、Cisco Proximity for Desktop のリリース ノート (<https://www.cisco.com/go/proximity-support>) を参照してください。

## Cisco Proximity アプリケーションの可用性と要件

Application	最小要件	リリースノート	ダウンロード先
Cisco Proximity for iOS	iOS 7 以降	Mac App Store	Mac App Store
Cisco Proximity for Android	Android 4.0 以降	Google Play Store	Google Play Store
Cisco Proximity MAC クライアント	OSX 10.9 (Mavericks) 以降	<a href="https://www.cisco.com/go/proximity-support">https://www.cisco.com/go/proximity-support</a> <a href="https://proximity.cisco.com/changelog.html">https://proximity.cisco.com/changelog.html</a>	<a href="https://proximity.cisco.com">https://proximity.cisco.com</a>
Cisco Proximity PC クライアント (ベータ版)	Windows 7 以降	<a href="https://www.cisco.com/go/proximity-support">https://www.cisco.com/go/proximity-support</a> <a href="https://proximity.cisco.com/changelog.html">https://proximity.cisco.com/changelog.html</a>	<a href="https://proximity.cisco.com">https://proximity.cisco.com</a>

Cisco Proximity for Desktop アプリケーションは、新しいバージョンが使用可能になると自動アップデートされます。

**注:** Cisco Proximity PC (Windows) クライアントは現在ベータ版です。

**注:** PC、Mac、Android および iOS デバイス用の Cisco Proximity アプリケーションは無償ですので、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のサポートはありません。

クライアント アプリケーション関連の問題やバグがあった場合は、必ず、シスコ サポート フォーラムに報告を投稿してください。この Cisco Proximity コミュニティはシスコの担当者によりフォローアップされています。エンドポイントでの Intelligent Proximity の機能についてのお問い合わせに使用することもできます。

サポートおよび問題のレポートには、<https://www.cisco.com/go/proximity-support> のリンクを参照してください。

## Multistream

Multistream は、エンドポイントがさまざまな解像度で複数のビデオ ストリームを送受信できるようにする機能です。これにより、TelePresence Server 上のトランスコーディングの負荷が下がり、エンドポイントで選択されているレイアウトに応じて、エンドポイントは低解像度の画像には低品質のストリームを使用できます。音声とプレゼンテーションは、以前と変わらず、Multistream が有効な TelePresence Server によってトランスコーディングされます。

この機能により、複数の参加者が会議に参加していても、ユーザ エクスペリエンスは強化されます。この機能の主なメリットは次のとおりです。

- Multistream が有効になっている会議に参加している場合、ビデオ参加者には 2 画面システム、つまり Cisco TelePresence MX700 および MX800 Dual システムの両方の画面を使用した表示が提供されます。
- レイアウト制御は、柔軟性が高く、エンドポイントでローカルに選択できます。このエクスペリエンスは、2 画面システムを使用すると強化されます。



上の例は、Multistream が有効でない会議での 2 画面システムを示しています。エンドポイントは、Cisco TelePresence Server から、トランスコーディングされたストリームを 1 つのみ受信しています。



上の例は、Multistream を有効にした同じ会議を示しています。

SX80、MX700、MX800 と MX800 Dual システムに第 3 の画面を接続するか、または MX200 G2、MX300 G2、および SX20 システムに第 2 の画面を接続した場合、追加された画面はプレゼンテーション専用予約され、Multistream が有効な会議でビデオ参加者の表示に使用されることはありません。

---

エンドポイントで Multistream が有効な場合、Multistream をサポートする会議では可能なときは常に自動的に Multistream が使用されます。会議で Multistream が使用できない場合、トランスコーディングにフォールバックします。帯域幅が低すぎたり、エンドポイントに過剰なパケット損失が発生した場合も、同様のことが起こります。トランスコーディングへのフォールバック後に Multistream を有効にするには、エンドポイントを終了して、会議へのコールおよびダイヤルを再度行う必要があります。

---

**注:** Multistream は、デフォルトではエンドポイントで無効になっています。

**注:** Multistream が最新の使用可能なソフトウェア上で機能するには、すべての必要なビデオ インフラストラクチャおよびエンドポイントが必要です。

**注:** 単一画面を備えた Multistream システムの推奨される帯域幅は 4 Mbps です。デュアル画面を備えたシステムの推奨される帯域幅は 6 Mbps です。

**注:** Multistream は現在 SX10 ではサポートされていません。詳細については、このマニュアルの「既知の問題」セクションを参照してください。

---

## マイク LED の動作変更

コラボレーション エンドポイント ソフトウェアにアップグレードすると、外部マイクおよび Cisco TelePresence の Touch 10 パネル上のマイクミュート ボタンを囲む LED は、通話中、コール受信中、またはコール作成中以外、点灯しなくなります。以前、この LED は緑色または赤色に常時点灯していました。システムが通話中でなくても、マイクがアクティブであれば緑色、マイクがミュートされていれば赤色に点灯していました。

次のシナリオで、マイク LED が点灯し、ミュート ボタンがアクティブになります。

- 発信コールを開始してからコールが切断されるまで。
- 着信コールを受信してからコールが切断されるまで。
- Web インターフェイスで VU メーターをアクティブ化して音量レベルをテストしている間。

色の意味(緑色がアクティブ、赤色がミュートを示す)には変更がありません。

---

**注:** PID 番号 CTS-SX20CODEC の Cisco TelePresence SX20 Quick Set にはこの機能がなく、システムがアイドル状態のときにもマイク LED が点灯します。PPID 番号 CTS-SX20NCODEC の SX20 Quick Set では、マイク LED の動作は、上記の説明のとおりです。PPID 番号は、コーデックの底面に記載されています。

---



## 詳細設定の画面上認証

Touch 10 パネルでの詳細設定は、管理者クレデンシャルにより保護されます。

SX10 および SX20 の画面上の詳細設定は、許可されないユーザがエンドポイントの設定を変更できないよう、PIN で保護することができます。この設定は、コーデック Web インターフェイスを使用して設定することができます。

## SX20 Quick Set のユーザ インターフェイスは、TRC6 とともに使用される場合、SX10 Quick Set と同様になります

SX20 Quick Set および SX10 Quick Set は、TRC6 リモートを含むエンドポイント制御をサポートしています。SX20 Quick Set の画面上のユーザ インターフェイスは、コラボレーション エンドポイント ソフトウェア上のインタラクティブな SX10 Quick Set ユーザ インターフェイスに合わせて、同じようになります。

## サポートされる解像度

SX80、MX700、MX800、および MX800D には、ローカルおよびコール内の WUXGA(1920x1200)のサポートが追加されました。

コラボレーション エンドポイント ソフトウェアは、16:9 または 16:10 の解像度のみサポートします。これは、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアがインストールされているすべてのエンドポイントに適用されます。

## SX10 Quick Set での 1080p 表示解像度

SX10 Quick Set にはソフトウェア拡張が追加され、秒あたり 5 フレームでの 1080p 表示を、ローカルで、およびコール内で共有できるようになりました。

## マイナー変更

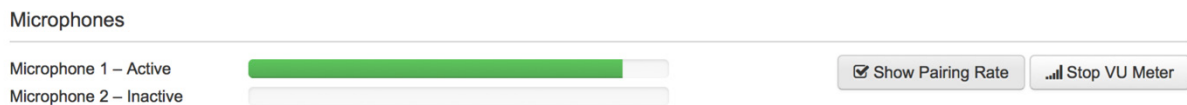
ここでは、コラボレーション エンドポイント ソフトウェア 8.0.0 の一連の関連する小さな変更について説明します。

## DHCP オプション 150 の常時要求

エンドポイントは DHCP 要求に常にオプション 150 を使用します。ユーザがこれを設定することはできません。

## VU メーターを使用した超音波ペアリング品質の測定

VU メーターは、マイクの音声のレベルを確認する Web ツールです。このツールは、超音波がエンドポイントの 1 または複数のスピーカーから適切に発せられてエンドポイントの 1 または複数のマイクに適切に集音されていることを確認するための方法を提供します。この機能を有効にするには、エンドポイント Web インターフェイスから VU メーターを開始し([構成 (Configuration)] > [周辺機器 (Peripherals)] > [VU メーター (VU Meter)]、[ペアリング レートの表示 (Show Pairing Rate)] ボタンをオンにします。0 ~ 100% の範囲を表す緑色のバーにより、エンドポイント自体が送信している超音波信号をどの程度エンドポイントがデコードしているかが示されます。



## CUCM から HTTPS のみを使用するようにエンドポイントをプロビジョニング

エンドポイントを CUCM からプロビジョニングして、HTTPS または HTTPS+HTTP だけを使用するようにできます。

## ホワイトボードへのスナップの改善

「ホワイトボードへのスナップ」機能が改善されました。プレゼンターがホワイトボードの横に立っていることを検出すると、システムは自動的にプレゼンターを含めるようにイメージを拡大します。以前に TC7.3.x でこの機能を使用していた場合は、CE8.0.0 でホワイトボードのプリセットを再設定して、この機能を完全に有効にすることを推奨します。詳細については、SX80 の管理者ガイドを参照してください。

# CE8 の未解決および解決済みの不具合

## Bug Search Tool の使用

Bug Search Tool を使用して、問題についての説明や可能な回避策など、本リリースの不具合(バグ)に関する情報を検索することができます。Bug Search Tool には、未解決の不具合と解決済みの不具合の両方が表示されます。リリース ノートには、未解決または解決済みのバグのサブセットは記載されません。定義済みリンクにより、すべての未解決または解決済みのバグの正確なリストが提供されます。定義済み検索にリスト表示されるシリーズ/モデルは汎用のものであり、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアを実行するすべての製品に関連するすべてのバグがリスト表示されます。

Bug Search Tool を使用するには、以下のステップに従います。

**ステップ 1:** <http://www.cisco.com/cisco/psn/bssprt/bss> [英語] に移動して、Bug Search Tool にアクセスします。

**ステップ 2:** Cisco.com のユーザ ID とパスワードを使用してログインします。

**ステップ 3:** 特定の問題に関する情報を検索するには、[バグ ID の検索 (Search for bug ID)] フィールドに不具合の ID 番号を入力し、[移動 (Go)] をクリックします。

特定のソフトウェア リリースの未解決および解決済みの不具合のリストにアクセスするには、次のリンクを使用します。

ソフトウェアのバージョン	解決済みの不具合	未解決の不具合
CE8.2.1	<a href="https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.2.1&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;bt=custV">https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.2.1&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;bt=custV</a>	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srty=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srty=byRel&amp;bt=custV</a>
CE8.2.0	<a href="https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.2.0&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;bt=custV">https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.2.0&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;bt=custV</a>	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.2.0&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.2.0&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>
CE8.1.1	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.1&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.1&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>	<a href="https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.1&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;bt=custV">https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.1&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;bt=custV</a>

ソフトウェアのバージョン	解決済みの不具合	未解決の不具合
CE8.1.0	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.0&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.0&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.0&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.1.0&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>
CE8.0.1	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.1&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.1&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.1&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.1&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>
CE8.0.0	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.0&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.0&amp;sb=fr&amp;sts=fd&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>	<a href="https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.0&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV">https://tools.cisco.com/bugsearch/search?kw=&amp;pf=prdNm&amp;pfVal=283661039&amp;rls=8.0.0&amp;sb=anfr&amp;sts=open&amp;srtBy=byRel&amp;bt=custV</a>

## 既知の制限事項

### 制限事項

機器/機能	要約
CUCM	<p><b>CUCM でプロビジョニングする場合の H.323 および SIP に関する考慮事項</b></p> <p>CUCM プロビジョニングを使用する場合、エンドポイントを VCS(SIP または H.323)に同時に登録することはできません。ユースケースはサポートされていません。CUCM プロビジョニングがアクティブのとき、H.323 モードは無効です。TelePresence カスタマーは H.323 から SIP に移行されることを推奨します。</p>
Cisco TelePresence SX20 Quick Set	<p><b>マイクミュートボタン</b></p> <p>PID 番号 CTS-SX20CODEC の SX20 Quick Set with のマイクミュートボタンが、システムが通話中でないときにも点灯(赤色または緑色)することは、既知の問題です。この問題は、CE8 を実行する PID 番号 CTS-SX20N-CODE の SX20 Quick Set の新しいハードウェア リビジョンでは解決されています。PPID 番号は、コーデックの底面に記載されています。</p> <p><b>バグ ID: CSCux85199</b></p> <p>特定のシリアル番号範囲内の SX20 が CE8.0.0 から TC ソフトウェアにダウングレードしている場合、マイク LED は適切に動作しません。症状としては、システムがミュートされていないときにも、マイク LED が赤色に点灯します。</p> <p><i>CE 8.0.1/TC7.3.5 で解決されています</i></p>
Cisco TelePresence SX10 Quick Set	<p><b>H.323</b></p> <p>このエンドポイントでは、H.323 はサポートされません。</p> <p><i>CE8.2.0 以降、サポートが追加されました</i></p>
Cisco TelePresence SX80、MX700、MX800、MX800D	<p><b>帯域幅の制限</b></p> <p>これらのシステムで使用できる最大帯域幅は、エンドポイントの高負荷に関連した制限により、6000 Kbps(以前は 10000 kbps)に制限されます。これに対する修正が今後のリリースで計画されています。</p>

機器/機能	要約
Cisco DX70 & DX80	<p><b>CE8.2.0 でサポートされない機能のリストについては、「新機能の説明」のセクションを参照してください。</b></p>
TRC6 リモコン	<p><b>保留ボタン</b></p> <p>システムが Touch 10 にペアリングされている場合、保留ボタンがサポートされます。ただし、SX10 Quick Set または SX20 Quick Set で TRC6 リモートコントロールを使用している場合には、サポートされません。</p>
H.265	<p><b>H.265 は SIP でのみ機能します</b></p> <p>H.265 プロトコルは SIP でのみ機能し、現在、SX80/MX700/MX800/MX800D でのみサポートされています。</p>
Multistream	<p><b>バグ ID: CSCut47719</b></p> <p>Multistream モードで動作しているエンドポイントは、アクティブ コントロールにより受信したメッセージをレンダリングしません。たとえば、Multistream モードのユーザには、会議終了時刻に関する警告メッセージが表示されません。</p> <p><i>CE8.2.0 で解決されています</i></p> <p><b>Multistream SIP SDP メッセージのサイズが CUCM に対して大きすぎる場合があります</b></p> <p>症状としては、コールが失敗します。バージョン 11.0 SU1 以前の CUCM のデフォルトの SIP 最大受信メッセージ サイズは、11000 バイトです (CUCM 11.0 へのアップグレードを含む)。Multistream ネゴシエーションを含む着信 SIP メッセージを処理できるようにするには、この設定を手動で 15000 バイトに変更する必要があります。この変更には CUCM サービスの再起動が必要です。Multistream を使用する場合、CUCM 11.0 SU1 以降を推奨します。</p> <p><b>CUCM SIP プロファイルには iX アプリケーション メディアが必要です</b></p> <p>Multistream が動作しない場合は、エンドポイントの割り当て済み SIP プロファイルで iX アプリケーション メディアが許可されていることを確認してください。許可されていない場合は、コールを Multistream として設定することはできません。</p> <p><b>SX10 Quick Set の制限</b></p> <p>SX10 Quick Set は現在、コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 8.x の Multistream をサポートしません。</p>

機器/機能	要約
	<p><b>保留/復帰(アドホック マルチストリーム コール)</b></p> <p>バージョン 11.0 SU1 以前の CUCM で保留および復帰が Multistream が有効なエンドポイントに關与している場合、CUCM は sip.cisco.multistream ヘッダーを取り除き、TelePresence Server はこのエンドポイントのトランスコーディングに切り替わります。</p> <p>この問題は、CUCM 11.0 SU1 以降で解決されています。</p> <p><b>Multistream エンドポイントは、イマーシブ 3 画面システムからの PIP を 1 つしか表示しません</b></p> <p>Multistream が有効なエンドポイント(SX80 など)では、3 画面システム (IX5000 など)で通話中のとき、3 画面システムからの 3 つの PIP すべてを表示しません。現在のアクティブな発言者を示す 1 つの PIP のみを表示します。</p> <p><b>帯域幅</b></p> <p>MX700 および MX800 Dual(2 画面システム)では、完全な Multistream エクスぺリエンスを得るために、デフォルトの最小帯域幅 6 mbps を使用することをお勧めします。低帯域幅を使用すると、TelePresence Server は特定のエンドポイントでトランスコーディングにフォールバックします。パケット損失時にはさらにこれが発生する可能性が高くなります。単一画面システムでは 4 Mbps が推奨されます。</p> <p><b>バグ ID: CSCUu69550</b></p> <p>画面上のミュート表示: サーバ側でミュートされている会議の参加者は、会議中に [*6] を押してミュートされても、それを知らされません。</p>
Cisco Intelligent Proximity	<p><b>制限については、シスコ サポート フォーラムを参照してください</b></p> <p><a href="http://www.cisco.com/web/go/proximity-support">http://www.cisco.com/web/go/proximity-support</a> [英語]</p> <p><b>トラブルシューティング ガイド</b></p> <p><a href="https://supportforums.cisco.com/document/12159326/troubleshooting-guide-cisco-proximity">https://supportforums.cisco.com/document/12159326/troubleshooting-guide-cisco-proximity</a></p>
タッチ 10	<p><b>バグ ID: CSCUm67440</b></p> <p>パネルの起動時にエリアに触れると、Touch 10 コントローラの画面上でそのエリアが動かなくなる場合があります。起動フェーズで、タッチ校正処理が行われるためです。このときに何かがタッチ パネルに触れると、そのエリ</p>

機器/機能	要約
	<p>アは Touch 10 が再起動されるまで機能を失う可能性があります。これを避けるため、ブート中にはタッチパネルに触れないでください。</p> <p><b>TC から CE へのアップグレード後には、Touch 10 を再起動する必要があります。</b></p> <p>ソフトウェアの制限により、リモートでペアリングされた Touch 10 は、TC から CE へのアップグレード後にハングする可能性があります。この問題を解決するため、Touch 10 の電源を切断して再接続すると Touch 10 は再起動します。この問題は、今後のリリースで解決される予定です。</p>
アクティブ コントロール	<p><b>バグ ID: CSCUo88201</b></p> <p>アクティブ コントロールは、デフォルトで [自動(Auto)] に設定されています。[自動(Auto)] に設定されている場合、エンドポイントはこれをネゴシエートし、VCS トランク経由で CUCM 8.6.2 に達すると、[503 サービス不可 (503 Service Unavailable)] によりコールは失敗します。アクティブ コントロールは CUCM 9.1.2 でサポートされます。問題を回避するには、[会議 1 (Conference 1)] を [オフ(OFF)] に設定してアクティブ コントロールを無効にするか、ゾーン プロファイルをカスタムに変更し、SIP UDP/IX フィルタモードを [オン(ON)] に設定することで、X8.1.x を実行中の VCS 側からこれをフィルタリングして除去します。</p> <p><b>バグ ID: CSCUu28355</b></p> <p>参加者をドロップする権限を持たないゲストとしてエンドポイントが CMR にダイヤル インする場合にも、ドロップ ボタンが表示されます。クリックしても何も起こりません。これはコラボレーション エンドポイント ソフトウェア 8.1.0 で解決される予定です。</p>
Web インターフェイス	<p><b>バグ ID: CSCUl35568</b></p> <p>Windows XP で実行中の IE8 の暗号スイートのサポートがないために、シスコのセキュリティ要件による HTTPS アクセスができません。Chrome、Firefox、Opera ブラウザは問題なく動作します。これらのブラウザには、必要な暗号スイートのサポートがあります。IE8 は、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 では正常に動作します。</p>
SNMP	<p><b>バグ ID: CSCtq44757</b></p> <p>コラボレーション エンドポイント ソフトウェアは、デフォルトの SNMP コミュニティストリングにより設定されます。これは、「プラグ アンド プレイ」機能に必要です。SNMP コミュニティストリングはクレデンシャルとして処理する必要があります。したがって、初期設定後に変更する必要があります。</p>



機器/機能	要約
セキュリティ	<p><b>バグ ID: CSCtr32420</b></p> <p>コラボレーション エンドポイント ソフトウェアとともに出荷されるコーデックは、シスコの標準パズフレーズ ポリシーに適合しません。システムが侵害されるのを避けるため、インストール時にユーザがシステムのパズフレーズを設定することを推奨します。</p>
IPv6	<p><b>バグ ID: CSCUo94615</b></p> <p>DHCPv6 のオプション 242 は、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアを実行しているエンドポイントでサポートされません</p>
管理	<p><b>Cisco TelePresence Management Server (TMS)</b></p> <p>One Button to Push (OBTP) を使用する会議のスケジュールは、TMS 15.0 および CE8 を使用した場合、正しく動作しません。このバグに対する修正は、TMS 15.1 で実装されます。</p> <p><b>CE8.1.0 以降を実行するエンドポイントで、HTTPS に対する TLS 1.0 がサポートされません。</b></p> <p>CE8.1.0 へのアップグレード後、TMS に HTTPS 応答が表示されない場合は、TMS サーバで TLS1.1 または TLS1.2 が有効になっているかを確認してください。</p>
カメラ プリセット	<p><b>バグ ID: CSCux71105</b></p> <p>TC ソフトウェアから CE ソフトウェアにアップグレードすると、すべてのカメラ プリセットが失われます。これは、ハードウェアの制限であり、ソフトウェアでは解決されません。</p>
PresenterTrack	<p><b>PresenterTrack が MultiSite と Multistream コールで無効です</b></p> <p>MultiSite および Multistream コールでは、PresenterTrack 機能を使用できません。</p> <p><b>トリガー ゾーンの設定</b></p> <p>Web インターフェイスでトリガー ゾーンを設定する場合は、既知の制限があります。([保存 (Save)] ボタンを押す押さないに関わらず) 青い四角を移動または配置すると常に、トリガー ゾーンが保存されます。エンドポイントのセルフビューに表示される青い四角は、設定を Web から手動で保存するか、または Touch 10 から PresenterTrack のプリセットをアクティブ化するまで消えません。</p>

機器/機能	要約
Presentation	<p><b>バグ ID: CSCuh68226</b></p> <p>MacBook Air で VGA ドングルに MiniDisplay ポートを使用すると、ビデオをコンテンツとして表示して共有することができません。MacBook Pro では、問題なくコンテンツはビデオとして表示されます。これは Apple の問題であると考えられます。</p>

## 相互運用性

本リリースとの相互運用性についてテストされた機器とソフトウェア リビジョンについては、「相互運用性」のセクションで説明しています。注:このセクションに記載のないデバイスやリビジョンは、相互運用性がないというわけではありません。

### H.323 ゲートキーパートラバーサル サーバ

機器	ソフトウェアのバージョン	説明
Cisco TelePresence System Video Communication Serve (VCS)	X8.x	Assent と H.460.18/.19 トラバーサルの両テクノロジーがサポートされています

### SIP レジストラ/プロキシ

機器	ソフトウェアのバージョン	説明
CUCM	9.1、10.0、10.5、11.0、11.5	
Cisco TelePresence System Video Communication Serve (VCS)	X8.x	

### ゲートウェイの相互運用性

機器	ソフトウェアのバージョン	説明
Cisco ISDN Link	IL1.1.6	
Cisco ISDN GW 3241	2.2	

## MCU の相互運用性

機器	ソフトウェアのバージョン	説明
Cisco Telepresence Server 7010	4.2, 4.3(x.x)	
Virtual TelePresence Server	4.2, 4.3(x.x)	
Cisco Telepresence Server MSE 8710	4.2, 4.3(x.x)	
Cisco MCU 53xx	4.5(x.x)	
Cisco MCU 42xx	4.5(x.x)	
Cisco MCU 45xx	4.4, 4.5(x.x)	
Cisco CTMS	未サポート	CTMS は、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアを実行しているエンドポイントでサポートされません。

## ストリーミング サーバ

機器	ソフトウェア リビジョン	説明
Cisco TelePresence System Content Server	S5.3、S6.x、TCS7.0、TCS7.1	

## 管理サーバ

機器	ソフトウェア リビジョン	説明
CTS マネージャ	未サポート	CTS マネージャは、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアを実行しているエンドポイントでサポートされません。
TelePresence Management Suite	15.0、15.1、15.2、15.3	15.2 以降を推奨 (DX シリーズ TMS 管理のサポートには TMS15.3 が必要)

## エンドポイントの相互運用性

一般情報	既知の影響を受けるエンドポイント		説明
H.265 の相互運用性	<b>Polycom</b> <b>Lifesize</b> <b>Vidyo</b>		<p>シスコでは、H.265 エンドポイント (SX80、MX700、MX800 および MX800D) とサードパーティのエンドポイントとの相互運用性の問題を確認しています。症状としては、一方または両方の方向からのビデオが着信されません。</p> <p>一部のケースでは、この問題を解決できる回避策は、上記の Cisco エンドポイントで H.265 を無効にすることです。Web インターフェイスより、[システム設定 (System Configuration)] で「H265」を検索し、[実験用会議 1 ビデオ プロトコル H265 無効化 (Experimental Conference 1 Video Protocol Disable H265)] を [オン (On)] に設定してください。</p>
シスコ	ソフトウェアのバージョン	プロトコル	説明
Cisco TelePresence System 500 シリーズ 3x00 シリーズ 1x00 シリーズ TX9000 TX9200 TX1310	1.10.7 (Ten Bears)	SIP	最大解像度 720p30 ポイントツーポイント
Cisco TelePresence System CTS500-32 TX1300 TX9000 TX9200	TX6.0.2 (Lago)	SIP	Lago 1G コーデックで 1080p30/60 のサポート
Cisco TelePresence MX G1 シリーズ	TC6.x、TC7.x	SIP/H.323	
Cisco TelePresence EX シリーズ	TC6.x、TC7.x	SIP/H.323	

Cisco TelePresence C シリーズ	TC6.x、TC7.x	SIP/H.323	
Cisco IP Video Phone E20	TE4.1.x	SIP/H.323	
<b>Sony</b>	<b>ソフトウェアのバージョン</b>	<b>プロトコル</b>	<b>説明</b>
Sony PCS-1		H.323/SIP	デュアル ストリームは 1 FPS に制限されます。 メイン ビデオのフレーム レートは 15 FPS を超えることはありません。
Sony PCS-XG80		H.323/SIP	SIP 遠端カメラ制御が機能しません。 SIP 暗号化コールが機能しません。 SIP/H.323 転送が機能しません。 Sony はプレゼンテーション (BFCP) を開始できません。
<b>Lync</b>	<b>ソフトウェアのバージョン</b>	<b>プロトコル</b>	<b>説明</b>
Microsoft Lync	2013	VCS x8 からの VCS トランク経由での SIP	2013 年 9 月にリリースされた VCS X8 が必要です。
<b>Polycom</b>	<b>ソフトウェアのバージョン</b>	<b>プロトコル</b>	<b>説明</b>
Polycom VSX 7000		H.323/SIP	ビデオ レートが低く、メイン ビデオがシャープネスに設定されている場合、VSX にビデオは表示されません。 SIP/H.323 転送が機能しません。 H.264 は低帯域幅でのみ使用されます。
Polycom Real Presence Group 500		H.323/SIP	FECC 制御が着信コールで動作しません。 H.323 無人転送が着信/発信コールで失敗します。 発信コールでの CE から CE への SIP 無人転送にビデオが含まれません。

Polycom Real Presence Group 300		H.323/SIP	FECC 制御が発信/着信コールで使用できません。 H.323 無人転送が発信コールのすべてのコールを切断します。 発信コールでの CE から CE への SIP 無人転送にビデオが含まれません。 H.323 無人転送は成功しますが、着信コールの両端でビデオが失われます。
Polycom HDX 9000		H.323/SIP	
Polycom HDX 8000 HD		H.323/SIP	CE エンドポイントへの発信コールの SIP にビデオが含まれません。

## カメラ

機器	ソフトウェア リビジョン	説明
サードパーティのカメラ	該当なし	シスコのコーデックをサードパーティのカメラにより使用することが可能ですが、テストされていないため、機能は保証できません。TAC サポートは拒否または制限される場合があります。

---

## xAPI の変更

コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 8 以降の API は、TC ソフトウェアに比べて、大幅に削減/変更されています。エンドポイントの設定は、API コマンドラインからでなく Web インターフェイスから行うことを推奨します。

API からの場合、管理ユーザは関連のコマンドと設定のサブセットにしかアクセスできません。Web インターフェイスでは、管理ユーザはすべての設定を使用でき、システムを完全に管理できます。リモートサポートユーザは、使用している場合、API コマンドの完全なリストにアクセスできます (TAC 契約が必要)。

特定の xAPI の変更はリリース ノートに公開されません。インテグレータ製品の Cisco API のリファレンス ガイドは、以下のリンクより参照してください。

MX シリーズ: <http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-mx-series/products-command-reference-list.htm> [英語]

SX シリーズ: <http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-command-reference-list.html> [英語]



# Cisco TelePresence systems のハードウェア依存

## はじめに

ハードウェア コンポーネントの不定期更新が原因で、新しく製造されたエンドポイントでの古いソフトウェアの実行に制約がある場合があります。エンドポイントの互換性レベルを確認するには、エンドポイントの Web インターフェイスにアクセスし、[構成 (Configuration)] > [システム ステータス (System Status)] > [システム ユニット (SystemUnit)] を順にクリックします。このページで、[互換性レベル (Compatibility level)] までスクロールします。次の表を使用して、エンドポイントの互換性レベルに基づいてソフトウェアの制約を判別することができます。

サポートされないソフトウェア バージョンにダウングレードすると、障害が発生します。

最新のソフトウェア リリースは常に、すべてのハードウェア バージョンと下位互換です。

### SX10

互換性レベル	適用可能なシステム	説明	最小ソフトウェアバージョン
			CE8
0	SX10	該当なし	すべて
1	SX10	該当なし	すべて
2	SX10	該当なし	すべて
3	SX10	該当なし	すべて

### SX80、MX700、MX800、MX800 Dual

互換性レベル	適用可能なシステム	説明	最小ソフトウェアバージョン
			CE8
0	SX80	該当なし	すべて
0	MX700/MX800/MX800D	該当なし	すべて

**SX20、MX200 G2 および MX300 G2**

互換性レベル	適用可能なシステム	説明	最小ソフトウェア バージョン		
			CE8		
2	SX20	該当なし	すべて		
3	SX20	該当なし	すべて		
4	SX20	該当なし	すべて		
5	SX20	該当なし	すべて		
0	MX200 G2	該当なし	すべて		
1	MX200 G2	該当なし	すべて		
2	MX200 G2	該当なし	すべて		
0	MX300 G2	該当なし	すべて		
1	MX300 G2	該当なし	すべて		
2	MX300 G2	該当なし	すべて		

**DX70 および DX80**

互換性レベル	適用可能なシステム	説明	最小ソフトウェア
			バージョン
			CE8
0	DX70	該当なし	8.2.0
0	DX80	該当なし	8.2.0

# Cisco TelePresence Touch 10 のハードウェア依存

## Cisco TelePresence Touch 10 用の新しいハードウェア リビジョン

Touch 10 をサポートするシステムは、SX10(N)、SX20(N)、SX80、MX200 G2、MX300 G2、MX700、MX800 および MX800D です。

タッチ コントローラでは、ハードウェア リビジョン番号は、起動時にタッチ スクリーンの右下に表示されます。

ハードウェア リビジョン	適用可能なシステム	説明	最小ソフトウェア バージョン
			CE8
102300-3 102310-0 102310-1	すべて	該当なし	サポートされるコーデックソフトウェア バージョンはすべて、互換性があります

次の表には、このマニュアルで参照されるドキュメントおよび Web サイトを示します。当社の Web サイトですべての製品マニュアルを参照できます。

名前	参照ドキュメント
シスコの Web サイト	<a href="http://www.cisco.com">http://www.cisco.com</a>
Cisco Software のダウンロード	<a href="http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html?i=lch">http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html?i=lch</a> [英語]
Cisco TelePresence User Documentation	<a href="http://www.cisco.com/go/TelePresence/docs">http://www.cisco.com/go/TelePresence/docs</a>

## ソフトウェアのファイル名

次の表に、ソフトウェアの正確なファイル名を示します。

コラボレーション エンドポイント ソフトウェア	SX20 用ソフトウェア
AES 暗号化	s52010ce8_2_1.pkg
暗号化なし	s52011cenc8_2_1.pkg
CUCM の AES 暗号化	cmterm-s52010ce8_2_1.k3.cop.sgn
CUCM の暗号化なし	cmterm-s52011cenc8_2_1.k3.cop.sgn

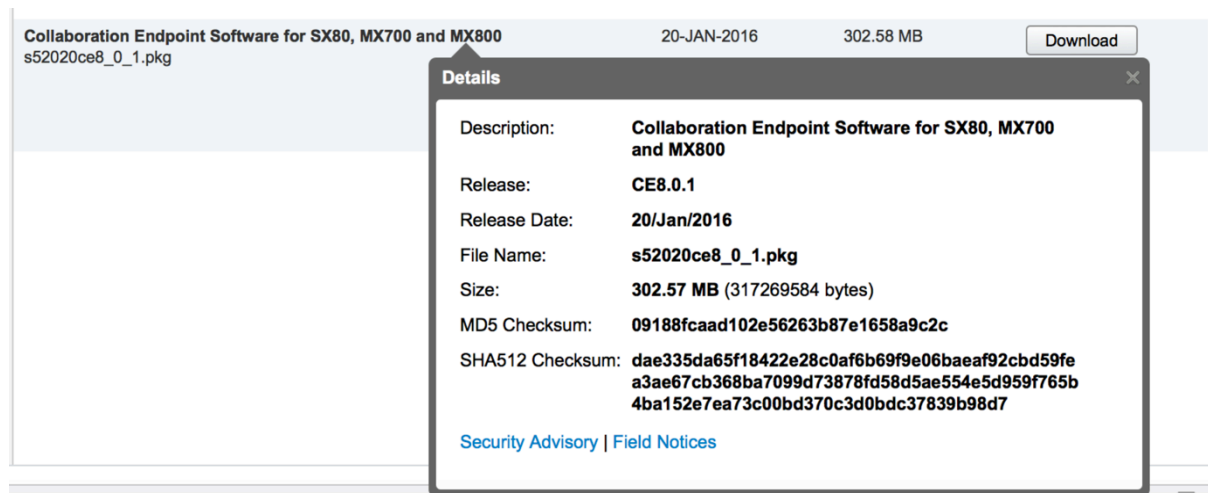
コラボレーション エンドポイント ソフトウェア	SX10 用ソフトウェア	MX200 G2、MX300 G2 用ソフトウェア	SX80、MX700、MX800、MX800 Dual 用ソフトウェア	DX70、DX80 用ソフトウェア
暗号化と非暗号化	s52030ce8_2_1.pkg	s52010ce8_2_1.pkg	s52020ce8_2_1.pkg	s52040ce8_2_1.pkg
CUCM の暗号化と非暗号化*	cmterm-s52030ce8_2_1.k3.cop.sgn	cmterm-s52010ce8_2_1.k3.cop.sgn	cmterm-s52020ce8_2_1.k3.cop.sgn	cmterm-s52040ce8_2_1.k3.cop.sgn
CUCM の暗号化と非暗号化* バンドル**	cmterm-ce8_2_1.k3.cop.sgn	cmterm-ce8_2_1.k3.cop.sgn	cmterm-ce8_2_1.k3.cop.sgn	cmterm-ce8_2_1.k3.cop.sgn

\*SX10、SX80、MX700、MX800、MX800D、DX70 および DX80 は、暗号化、非暗号化でソフトウェア パッケージが区別されていません。これらのシステム (DX70 および DX80 を除く) では、暗号アルゴリズムを有効にするための暗号化オプション キーが必要です。

\*\*この Cisco Options Package では、1 つのファイル内のすべての製品プラットフォームのソフトウェア パッケージが含まれています。

## ソフトウェア整合性の確認

cisco.com からダウンロードしたソフトウェア イメージの整合性を確認するには、SHA512 チェックサムを計算し、それがソフトウェアのダウンロード ページに記載されているものと一致するかを確認します。チェックサムを検索するには、ダウンロードしたソフトウェア イメージにマウス ポインタを移動します。



下部に SHA512 チェックサムが表示されます。チェックサムの一部しか表示されない場合は、末尾の「...」を押すと、展開することができます。

ローカル デスクトップで SHA512 チェックサムを計算する場合は、次の表を参照してください。

オペレーティングシステム	SHA512 チェックサム の計算コマンド例
Microsoft Windows	コマンドライン ウィンドウを開き、次のコマンドを入力します <pre>&gt; certutil.exe -hashfile s52020ce8_0_1.pkg SHA512</pre>
Apple MAC	ターミナル ウィンドウを開き、次のコマンドを入力します <pre>\$ shasum -a 512 s52020ce8_0_1.pkg</pre>
Linux	ターミナル ウィンドウを開き、次のコマンドを入力します <pre>\$ sha512sum s52020ce8_0_1.pkg</pre> <p>または</p> <pre>\$ shasum -a 512 s52020ce8_0_1.pkg</pre>

SHA512 チェックサムが一致すれば、ソフトウェア イメージが改竄されておらず、ダウンロード中にイメージが破損されていない確実性は高くなります。

SHA512 チェックサムが一致しない場合、いかなるシステムもこの破損したソフトウェア イメージでアップグレードしないことをお勧めします。ソフトウェアを再度ダウンロードし、SHA512 チェックサムを再度確認してください。何度も不一致になる場合は、Cisco Technical Assistance Center に状況を報告してください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

ハードコピーおよびソフトコピーの複製は公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト([www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices))をご覧ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)